みんなで

のりこえよう通信

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　校長室から

令和　2　年　4月　20日　　NO.6

回せ、回せ!

ある先生は、キュウリが嫌いで見るのもイヤとか。

その昔、わたしは、そうめんがだめでした。

そばのように香りがあるのでもなく、うどんのように歯ごたえがあるわけでもない。空腹を癒すには程遠い細い麺は、見ただけでもうんざりでした。

ところが革命がおきます。

十年ほど前まで、家内の実家のある鹿児島へ帰省していました。あるとき、誘われて指宿近くの唐船峡というところへ連れていかれたのです。洞窟を降りていく感じで下へと進んでいきますと、地下水が流れていて、真夏でもひんやりします。

あちらこちらにテーブルが並べられていますが、そのテーブルの上には、大きな水槽のようなものが載せられています。地下水がその水槽の中に流れてきて、なにかうまく細工をしているのか、ぐるぐると激しい流れができています。

ここにそうめんを入れるのです。

ぐるぐる回るそうめんをいやいや箸の先で拾い上げ、食べてみてびっくり。地下水で冷やされたそうめんのさわやかなこと。

大阪に戻ってからも、そうめんを回したくって仕方がない。

鹿児島では一家に一台ある流しそうめん機がなかなか大阪では見つかりません。数年後にふと立ち寄った量販店で見つけたのです。

「そうめん太郎1号」。夏の楽しみの一つです。

暑い季節になると、回します。

ぐるぐるぐるぐる回します。そうめんを。